

トップ対談 42

組合員・地域とともに



「あなたのやってみたい」を JAひまわりがお手伝い(下)

ゲスト/今泉 秀哉 (愛知県JAひまわり 代表理事組合長)

第42回ゲスト

愛知県JAひまわり 代表理事組合長
今泉秀哉



いまいずみ・ひでや
1954年愛知県生まれ。1976年大学卒業後、旧豊川市農協に入組。職員時代、営農指導、経済企画、旅行業務、介護福祉、企画、総務部などの業務に従事する。2011年専務理事、2023年代表理事組合長に就任。

●インタビューとまとめ

三重大学名誉教授
京都大学学術情報メディアセンター研究員
石田正昭



いしだ・まさあき
1948年生まれ。東京大学大学院農学系研究科博士課程満期退学。農学博士。専門は地域農業論、協同組合論。元・日本協同組合学会会長。三重大学、龍谷大学の教授を経て、現職。近刊書に『JA女性組織の未来 躍動へのグランドデザイン』『いのち・地域を未来につなぐ これからの協同組合間連携』(ともに編著、家の光協会刊)

* 前回の記事は[コチラ](#)から

「あなたのやってみたい」をJAひまわりがお手伝い

JAひまわりが秀でているのは営農面活動だけではない。生活面活動も秀でたものを持っている。とりわけかつて朝日農業賞を受賞した女性部活動はいまも健在である。今回は「わい！わい！活動」と総称される女性部のグループ活動とそれを動かす仕組み、さらにはJAの地域貢献活動を今泉秀哉組合長に語ってもらった。

■ 伝統と革新が息づく女性部活動

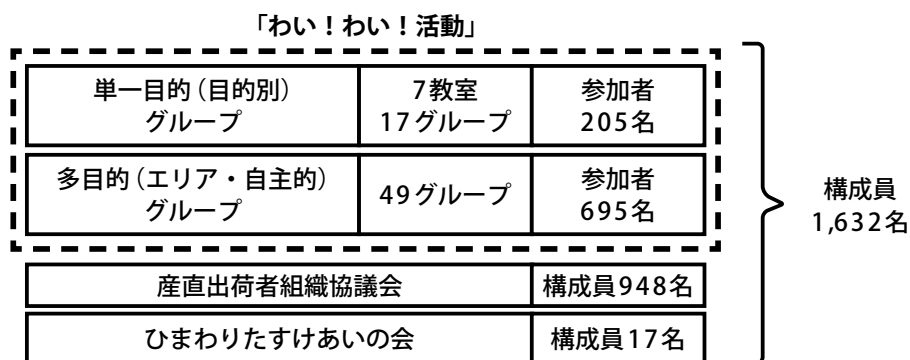
石田：女性部の直売組織は、旧三河一宮農協の100円市から始まって各地に広がっていきました。規格外品を棄てるのは「もったいない」と生鮮品のまま、あるいは加工品にして売り始めたのが100円市でした。そのとりくみが朝日農業賞の受賞につながったわけですが、そのよき伝統を受けついで女性部活動はものすごく活発です。

今泉：ありがとうございます。現在、5か所の直売所（グリーンセンター3か所、産直ひろば2か所、総販売額およそ36億円、豊川市の人口およそ18万人）に出荷する産直出荷者組織協議会の構成員は1,224名です。そのうち女性は948名ですが、彼女たちは全員女性部に加入しています。

女性部員は総勢1,632名で、組織的には大きく3つに分かれます。1つはいまお話しした「産直出荷者組織協議会」（948名）で、そのほかに福祉活動を担う「ひまわりたすけあいの会」（17名）と各種グループ活動を展開する「わい！わい！活動」があります。

この「わい！わい！活動」も大きく2つに分かれていて、JA主催の各種教室に参加する「単一目的（目的別）グループ」と、女性部員が自主的活動を行う「多目的（エリア・自主的）グループ」からなります（下図の破線内参照）。その参加者はすべて女性部員として登録されますが、部員数の算出にあたって参加者の重複

図 JAひまわり女性部組織図



注）令和7年度JAひまわり女性部総会資料より作成

計算はしていません。

単一目的(目的別)グループは「ヨガ」「手芸クラブ」「生花教室」など7教室17グループからなり、その参加者は205名です。

多目的(エリア・自主的)グループは、いわゆる生活活動に分類されるものですが、基本は「やりたいことを、気の合う仲間と楽しくやる」ことをめざしています。その特徴は支部制を撤廃したことです。グループ活動の結集軸には年齢、地域、テーマなどがありますが、グループの結集軸が何であるかは問うていません。とにかく気が合う仲間とやりたいことをやる、これを第一に掲げています。ですから1人の女性が地域を超えて、あるいは年齢やテーマを超えていくつかのグループ活動に参加することが可能です。

石田：支部とか、年齢とかの「しぼり」を撤廃したわけですね。画期的だと思います。

今泉：多目的(エリア・自主的)グループは全部で49グループあり、695名が参加しています。

最大のグループは「フラダンス」(67名)で、次いで「卓笑会」(42名)となっていますが、グループ名だけでは何をやっているのか、よくわからないグループもあります。皆さん、名称にはこだわりを持っていますからね。もちろん「太極拳」(25名)、「ボールエクササイズ」(15名)、「カラオケ教室」(20名)、「御津ソフトバレーボール」(11名)など、名前だけでわかるグループもありますし、「家の光記事活用グループ」(18名)もあります。

石田：「気まま会」(11名)というグループがあります。これって何をやるかが「気まま」ということですか？

今泉：いいえ。料理グループのことです。何をつくるかは、そのときどきで気ま



写真上／「フレッシュマミー」は、料理教室などを中心に活動している子育て世代の単一目的(目的別)グループだ
写真左上・左下／多目的(エリア・自主的)グループのひとつ「オクチャンズ」は、メンバーが講師となって、それぞれ得意のコンニャクづくりやお菓子作りを教え合う

まだという意味でしょう。

石田：なるほどね。

今泉：単一目的(目的別)グループはJ Aが先生(外部講師)を配置していますが、多目的(エリア・自主的)グループのほうは、グループリーダーなりその道の精通者が先生になることで自主的に運営しています。

もちろん要請があればJ Aが先生(外部講師)をあっせんすることもあります。最初があっせんから入って、慣れてきたら直接先生に依頼することも可能です。先ほど見てきた「わい！わい！ホール」でのボールエクササイズはそのケースに当たります。

石田：場所さえ確保できれば、それでいいわけですね。毎回毎回J Aに依頼する必要はないし、事務局の負担も軽減されます。

ただ家の光記事活用グループが1グループだけ、というのはちょっとさびしいですね。もっといっぱいあってもいいと思います。より突っ込んでいえば、現存するいくつかのグループを家の光記事活用グループに登録してもよいのではないのでしょうか。参加者のやる気を高めるうえでも大いに『家の光』に取り上げてもらったらいいと思います。

■ パートナースhipで地域に貢献する

石田：広報誌「Wai!Wai! Himawari」(以下、「わい！わい！ひまわり」)の2024年6月号に貴兄が、豊川市社会福祉協議会の権田晃範会長にヒマワリの種子2万粒を寄贈したと報じられています。権田会長はJ Aひまわりの前組合長ですが、両者の息がぴったり合っているなと感じました。

今泉：そうですね。J Aが介護福祉センター(居宅介護支援・訪問介護・福祉用具販売)を設置していることから、権田さんが社協の監事を長年務めていて、その関係でJ A組合長を退任後、社協会長に就任されたのではないかと思います。J A関係者が社協会長をやるのは初めてのことです。

ヒマワリの種子を寄贈したのは、社協との共催で「隣近所のふれあい推進協働事業(フラワーキャンペーン)」を毎年行っていて、その一環として配布したものです。身近に暮らす住民相互のつながりや、助け合いをより一層強めることを目的としています。ヒマワリの種



J Aでは、身近に暮らす住民同士のつながりや助け合いをより一層強めることを目的に、「隣近所のふれあい推進協働事業(フラワーキャンペーン)」としてヒマワリの種子の配布などを行っている

子は小分けにされ、社協の窓口やＪＡの本支店で５月上旬に配布されました。

石田：ＪＡの名称にピッタリな地域貢献だと思います。地域貢献活動ではもう一つ、「障がい者のための新しい作業場をＪＡが提供する」という計画が令和６（２０２４）年度の事業計画に記載されていました。

今泉：「農福ポート」のことですね。これは農協観光が全国展開している事業ですが、ＪＡが遊休資産となっている支店や営農センターを農協観光（農福連携事業課）に有料でお貸しし、そこを障がい者の新しい作業場として活用することをいいます。その特徴は「農福ポート」という名称が示すとおり、障がい者に農業関係の作業をしてもらうことにあります。

ただその作業場はどこでもいいというわけではなく、障がい者の雇用促進という観点から一年じゅう働けて、しかも公共交通機関を使って通勤しやすいところに限られます。そんなことから農福ポートは交通網の発達した埼玉、神奈川、静岡、愛知などに設置されています。

石田：ＪＡにもメリットがあり、障がい者にもメリットがあって、さらには農協観光にも地域貢献というメリットがある。まさしく「三方よし」ですね。

今泉：ＪＡひまわりでは、つまもの部会の出荷調製作業を請け負ってもらっています。１０枚の大葉をゴムで束ねて、１０セットずつパックに詰めるという作業ですが、つまもの部会（１８名）のうち１０名がそこを利用しています。作業場は３か所あって、全生産量の５パーセントくらいを処理してもらっています。大葉は収穫にしろ、パック詰めにしろ、とにかく人手が多くかかりますから、生産者はすごく喜んでいます。

石田：作業の精度が問題となるのでは？

今泉：精度はもちろん、効率もよくなっていると聞いています。合計で７０人くらいの障がい者が来ていますが、皆さん集中力を切らさずやっているようです。社会福祉法人の担当者が作業を見守っていて、その都度適切なアドバイスを行っています。

ただ最近は大葉の自動包装機（結束しないまま小袋＝ガゼット袋に入れる機械）が登場して、全面的ではありませんが、ＪＡひまわりも東三温室園芸農協もこれを使って出荷するようになっています。ガゼット袋はスーパー向け（家庭用）の需要が伸びています。

■ ＳＤＧｓな女性部

石田：ＪＡひまわりは早い段階からＪＡ女性参画の３目標（正組合員に占める女性の割合３０％以上、総代に占める女性の割合１５％以上、女性理事等の役員に占める割合１５％以上）を達成しましたが、それを後押ししたのは活発な女性部活動だったと思います。広報誌「わい！わい！ひまわり」でも毎号「ＳＤＧｓな女性部」



昨年度から始まった「まりくんの夏休み宿題見守りDAY」。子どもを持つ職員のアイデアでスタートした。募集をかけるとすぐ定員に達したという

というチャームな名称のページを設けて、さまざまな女性部活動を紹介しています。

今泉：わたしどもはJAの活動、とりわけ女性部の活動はSDGsそのものだと理解しています。「SDGsな女性部」のページで紹介するさまざまな女性部活動も、そのとりくみがSDGsの17目標のどれに当たるかをフラッグで示すことにしています。

石田：フラッグを立てるあたりは時の流れを的確にキャッチしている証拠です。広報誌「わい！わい！ひまわり」2024年10月号に掲載されていますが、「まりくんの夏休み宿題見守りDAY」でも女性リーダーが宿題に取り組む小学生のサポーター役になっていますね。

今泉：そのとおりです。「まりくん」はJAひまわりのイメージキャラクターで、JAを印象づけるあらゆるシーンに登場します。ご指摘の「まりくんの夏休み宿題見守りDAY」は昨年(2024年)度からスタートしたJA(金融課)の企画ですが、支店職員のほか、女性リーダー、それに支店によっては非常勤理事もサポーター役として登場しました。

石田：「夏休み宿題の見守り」それ自体が、ざん新なアイデアだと思います。どこからそんなアイデアが生まれたのですか？

今泉：金融課が行っている支店活動で、新たに若い層を取り込みたいという思いからです。若い層の困りごとって何だろう、と考えるなかで「夏休み期間中の子どもの宿題を見てあげられない」という声が多いことに気づきました。じゃあ、その代役を務めることで親御さんに喜んでもらおうと始めたのがこの企画でした。じつは若い職員ほど、いつものルーティン業務から離れて、この種のイベントに参加することに「やりがい」を感じる人が多いようです。



女性部の活動をSDGsの17目標のどれに当てはまるかフラッグをつけて紹介。2023年3月号から続く人気コーナーだ

石田：宿題を見てあげるなんて簡単ではないように思いますが。

今泉：基本的に、夏休みの宿題をこの日にやりましょう、というお話なので、それほど難しいことはありません。小学校3年生以上を対象に、朝の9時から11時までが「宿題(自己学習・作文・ポスター制作など)」の時間で、子どもたちの横に立って相談に乗ってあげる。そのあと11時から12時までが「お楽しみ会」の時間で、子どもたちが喜ぶような企画を各支店が考えることにしました。

石田：平日の開催ですか？

今泉：ええ。8月上旬の平日3日間の開催でした。3日連続で出てくる子もいましたし、1日だけの子もいましたが、7会場で延べ371名の参加がありました。たいへん好評だったので、今年度(2025年度)も開催することとし、現在参加者の募集をかけているところです。ただ3年生だと飽きちゃう子もいましたので、今年度は4年生以上としています。

石田：もう一つ、興味深かったのは総合集出荷センターで開かれた女性部の「ふれあいパーティー」です。どんなパーティーですか？

今泉：今年(2025年)2月6日に女性部のグループ間交流活動として企画され開催されました。67名の参加がありました。女性部の役員たちがお弁当やおやつを用意し、参加者の皆さんにふるまうという企画です。

石田：いってみれば、会食がてらの「おしゃべりパーティー」ですね。

今泉：そうです。コロナ禍前はホテルのシェフがつくったお弁当を会食していたのですが、コロナ禍後は自分たちでお弁当をつくって楽しみましょう、という方向にシフトしました。当時の役員さんが非常に熱心で、定員を超える申し込みがあったのですが、お断りするのにもよくないと判断して希望者全員を受け入れたうえで、われわれJAの常勤役員にも参加を呼びかけてくれました。うれしいことに会場があふれかえるほどの盛況でした。

お弁当を楽しんだあとは『ちゃぐりん』の食育クイズや、農産物や加工品が当たるビンゴ大会で大いに盛り上がりました。

石田：そうでしょうね。とてもいい企画です。今年度(2026年2月)も当然やるんですよね。

今泉：はい、やるようです。すでにお料理をつくるグループも結成しています。女性部の活動を自分たちで盛り上げていこうと旧役員の方にもグループに入ってもらっています。

総合企画部組織活性課

「あなたのやってみたい」をＪＡひまわりがお手伝い、は総合企画部組織活性課が発行する「わい！わい！活動のご案内」のキャッチコピー。組織活性課という部署名もなるほどと思わせるものがあるが、組合員管理や教育文化活動の担当部署である。

「わい！わい！活動のご案内」は毎年度発行されるが、単なる情報提供誌ではない。「わい！わい！活動」の参加申込書と貯金口座振替依頼書を兼ねている。「わい！わい！活動」の参加申し込みには本人名義の口座を必要とするが、これによって参加者は女性部員として登録され、受講料も自動的に引き落とされる仕組みになっている。当然ながら、参加者は組合員またはみなし組合員（正組合員世帯の女性）に限られることになる。

編集面でも数々の工夫がみられる。たとえば

- ① 画像（写真等）による情報提供はなく、文字で必要にして十分な情報を提供している。活動内容を画像で知りたい場合は広報誌やインターネットのほうが便利だからであろう。
- ② 単一目的（目的別）グループの紹介は、各講座（活動グループ）を《生活・文化・教養・健康》《子育て世代（20歳～49歳）》《男性対象》に区分し、選択に迷わないような配慮をしている。
- ③ 多目的（エリア・自主的）活動グループの紹介は、オープン参加形式をとる活動グループに限定している。いいかえればクローズドな活動グループの記載はない。
- ④ 各講座（活動グループ）について、開催日時、募集人員、会場、講師名、講座内容、参加費を明記し、だれもが安心して申し込めるようになっている。
- ⑤ 新しく活動グループをつくりたいと考えている人を対象に、どのような条件を満たせば「わい！わい！活動」に登録されるかを明示している。「人生100年時代 あなたも始めてみませんか？『わい！わい！活動』』という呼びかけもスマートである。
- ⑥ 「わい！わい！活動」の登録条件は次のとおりである。
 - ・ 1グループ5名以上のメンバー（組合員または組合員家族）で構成
 - ・ 年間活動4回以上
 - ・ ＪＡで開設した貯金口座にて活動費管理
 - ・ 活動計画書及び活動報告書の提出

- ・年間平均でメンバーの5割以上が活動に参加
- ・リーダーの選出・リーダー会議への参加
- ・JAの依頼に応じた行事への参加



年に一度、女性部参与会とわい！わい！活動グループリーダーが、意見交換会を行い、今後の活動のあり方などを検討する

《生活・文化・教養・健康》

講座NO	講座名	開催日時	募集人数	会場	講師名(敬称略)	講座内容	参加費
801-01	染物クラブ	年4回(5-7・9-11月) 第4回13:30～15:00	15	わんぱりホール	尾崎 七恵	草木や花など身近なものを染めて季節に合わせたものを着よう	年会費: 3,000円 (別途材料費)
802-01	手芸クラブ パッチワーク	<5月～29日までの月1回> 第3回13:30～15:30	15	三浦子実店	フレア・ローズ	キットを使い、手芸やパッチワークを学ぶ	年会費: 6,000円 (別途材料費)
802-02	手芸クラブ パッチワーク	<5月～29日までの月1回> 第3回13:30～15:00	20	産直ひろば 産直多目的ホール	酒原 和実	に自身の布を利用できる	年会費: 6,000円 (別途材料費)
802-03	手芸クラブ あみものAM	<5月～29日までの月1回> 第1回10:00～12:00	20	本店	河村 やし	小物・セーターを作成します。 ※米屋敷産米・大豆・味噌から挑戦してみませんか?	年会費: 6,000円 (別途材料費)
802-04	手芸クラブ あみものPM	<5月～29日までの月1回> 第1回13:00～15:00	20	本店	河村 やし	小物・セーターを作成します。 ※米屋敷産米・大豆・味噌から挑戦してみませんか?	年会費: 6,000円 (別途材料費)
802-05	手芸クラブ クラフト	<5月～29日までの月1回> 第4回13:30～15:00	15	わんぱりホール	高橋 昌代	クラフトテープを使って小物・パッチワークを学ぶ	年会費: 6,000円 (別途材料費)
803-01	生花教室	<5月～29日までの月1回> 第3回13:00～16:00	20	わんぱりホール	大橋 光孝	観音寺	年会費: 7,000円 (別途花料)
803-02		<5月～29日までの月1回> 第2回13:30～15:30	15	わんぱりホール	小山 智子	池 野	
805-01	ヨガ	<5月～29日> 毎週火曜日13:30～14:30	20	三浦子実店	鈴木 浩美		
805-02		<5月～29日> 毎週木曜日10:00～11:00	20	八幡宮	近藤八重子 八幡 源三		
805-03		<5月～29日> 毎週火曜日9:30～10:30	20	西野実店	浅間久美子	人気のヨガで「心と体をリフレッシュ」しましょう	月謝: 3,000円
805-04	ヨガ	<5月～29日> 毎週木曜日13:30～14:30	20	新井実店	八幡 源三		
805-05		<5月～29日> 毎週木曜日10:00～11:00	20	千秋実店	鈴木 浩美		
805-07	ヨガ	<5月～29日> 毎週火曜日13:30～14:30	20	小坂井実店	浅間久美子	人気のヨガで「心と体をリフレッシュ」しましょう	月謝: 3,000円
807-01	あみい	女性部員数18名(エーション)の大会(あみい・リーダー)やJA等のイベント等に活動の成果(デモンストラ)としてご協力するボランティア活動です。					

《子育て世代対象(20歳～49歳)》

講座NO	講座名	開催日時	募集人数	会場	講師名(敬称略)	講座内容	参加費
806-01	フレッシュマミー	年3回～4回 開校案内等申し込み後グループ活動を実施予定	12	わんぱりホール		地元産産物を使った料理教室 他	年会費: 1,200円 (別途材料費)

《男性対象》

講座NO	講座名	開催日時	募集人数	会場	講師名(敬称略)	講座内容	参加費
806-01	とうちゃん料理教室	年3回～4回	16	わんぱりホール	JA東郷 厚生課 女性委員	地元産産物を使った料理教室 他	年会費: 1,200円 (別途材料費)

《多目的(エリア・自主的)活動》

講座NO	講座名	開催日時	募集人数	会場	講師名(敬称略)	講座内容	参加費
801-01	フラ初級	金曜日(15:30) 13:30～14:30	7	千秋実店	山崎千穂子		
801-02		月曜日(15:30) 13:30～15:00		中野実業センター	高木 裕子	<月3回> ゆっくりとした動きで体に負担をかけることなく健康増進をめざします。	月謝: 2,800円
801-03		月曜日(15:30) 13:30～15:00		西野実店	山本八重子		
801-04	フラ中級	金曜日(15:30) 19:00～20:30	7	産直ひろば 産直多目的ホール	陶江 孝子	※フットの幅・レベルアップは参加者のスキルアップに依ります。	
801-05		金曜日(15:30) 15:00～16:00		千秋実店	山崎千穂子		月謝: 3,300円
801-06	フラレベルアップ	火曜日(15:30) 15:00～16:00	7	産直ひろば 産直多目的ホール	高木 裕子		月謝: 4,900円
802-01	ヨガアサーマ	火曜日 10:30～11:30	7	西野実店	浅間久美子	人気のヨガに参加して仲間づくりしましょう	月謝: 2,000円
802-01	カラオケ教室	第2・4・6曜日 19:00～21:00	7	東上実店	杉本 裕子	「音楽で元気な心で笑顔になろう」を目標に楽しく歌うことの楽しさを伝えながら気軽に歌ってもらいます。	月謝: 1,000円 ※その他必要に応じて費収
802-02		第2・4・6曜日 19:00～21:00					
804-01	ハニーマグナム	毎週木曜日 10:10～11:40	7	西野実業センター	河原 静恵	ストレッチ・リズム・呼吸・エクササイズも学ぶ	月謝: 800円
805-01	健康体操	毎週木曜日 9:00～10:00	7			ストレッチ・リズム・呼吸・エクササイズも学ぶ	月謝: 800円

※多目的(エリア・自主的)活動につきましては、グループリーダーを中心に活動しています。

わい！わい！活動のご案内